

to you

10月 2022



No. 463 令和4年9月25日発行

カルチャーひろしま

文化情報マガジン [to you]

発行 / (公財) 広島市文化財団 文化事業部 企画事業課
〒730-0812 広島市中区加古町4-17 JMSアステールプラザ内
TEL.082-244-0750 FAX.082-245-0246

to you 専用Eメール to-you@cf.city.hiroshima.jp

ホームページ <http://www.cf.city.hiroshima.jp/bunka/>

編集・印刷 / 大村印刷株式会社

表紙イラスト / 田中 聡

掲載しているイベントは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、中止、延期となる場合があります。詳しくは、各イベントの連絡先へお問い合わせください。(9月12日現在)

ひと・こえ

まず物語があり、

それを語りで表現し、

琵琶の音は語りに寄り添う。

『薩摩琵琶で楽しむ古典文学の世界』で講師を務める辻山錦篁さん。学生時代にさかのぼる薩摩琵琶との出会い、古典文学を演じる上での薩摩琵琶の表現の妙を伺いました。

■琵琶との出会い

私は東京で大学時代を過ごしたのですが、人前で広島弁が出るのが気恥しく無口になりがちでした。思う存分大きな声を出したい!と、詩吟クラブに入部しました。人生とは思えないもので、詩吟の夏合宿に参加した夜、合宿応援に来られたOBが詩吟入りの琵琶演奏をされたのきっかけで、琵琶に興味を持ちました。卒業後は広島に戻り社会人となりましたが、当時、琵琶を教えるところが広島にはなく、関西か関東に行くしかありません。仕事が忙しくもあり、詩吟だけを広島でずっと続けてきました。家族ができ、子供が大きくなり、少し自分の時間を持つようになった40歳の頃に念願だった薩摩琵琶を習いに月に1度、関西へ通い始めました。相変わらず仕事は多忙でしたが、「今度はどんな曲を教えてもらえるかな」とワクワクしながら通ったことを覚えています。

■音で何をどう表現するか

琵琶の歴史は古く、奈良時代にはすでに宮中の神事で使われ、鎌倉時代になると物語の語りに合わせて演奏するスタイルが確立されました。これはあくまで私の考えですが、古典文学を表現するには、まず出来事があり、それを言葉で伝える語りがあり、語りを支えるのが琵琶の音色です。人はきれいな月を見て心に感じ入るものがあると、その思いを詩に留めたい。いい詩ができると、今度はそれをメロディーにのせて謡ってみたい。私たちがやっていることは、本来そういうことなのではないでしょうか。基本の技術の大切さはもちろんですが、琵琶を持つ以前に作品の場面、場面を具体的にしっかりイメージできていることも大切。同じ作品でも演じる年齢によって、思い浮かべる景色が変わることもあるでしょう。朗読から丁寧にしていくと、古典文学を表現する奥深さ、面白さがわかります。



辻山 錦篁さん (つじやま・きんこう) 薩摩琵琶 広島錦篁会会長

1952年生まれ。兵庫県西宮市にて楊嶽水師に錦心流薩摩琵琶を学び、後に楊嶽水師の勧めで東京・田中錦焔門下生となる。日本琵琶楽コンクール優勝、文部科学大臣賞受賞、日本放送協会会長賞、辻靖剛賞、日本琵琶楽協会会長賞ほか受賞多数。NHK『邦楽のひととき』出演のほか公民館、小学校特別授業、民間団体、寺社からの演奏依頼、講演活動で活躍中。自宅(西区)にて「琵琶教室」を開校し、薩摩琵琶の普及に努めている。

講座 薩摩琵琶で楽しむ古典文学の世界パート6

『平家物語』など古典文学の名シーンを、薩摩琵琶の演奏と語りで楽しむ。薩摩琵琶の生音を直接聴ける貴重な機会です。ぜひ会場で語りと琵琶の音が醸し出す古典文学の世界を感じてください。

時 / 11月5日(土) 13:00 ~

会 / 南区民文化センター スタジオ

料 / 無料 ※要申し込み(定員70名)

問・申し込み / 南区図書館窓口か、電話またはFAXにて申し込み
(10月1日(土)9:00から受付開始)

南区図書館 TEL.082-251-1080 FAX.082-252-4120

